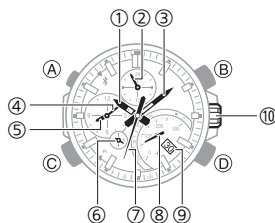
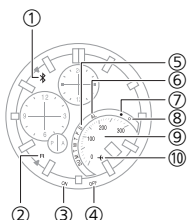
操作ガイド 5419

CASIO

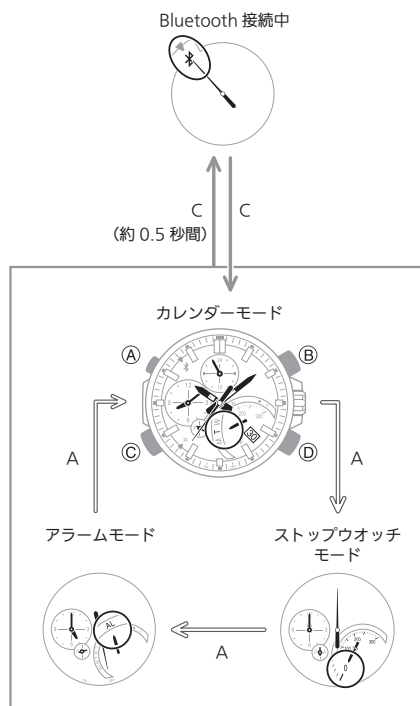
基本的な操作

以下は、各モードで共通の操作です。

各部の名称

① 時針
② 時針（24 時間制）
③ 分針
④ 小分針
⑤ 小時針
⑥ 小時針（24 時間制）
⑦ 秒針
⑧ モード針
⑨ 日付
⑩ りゅうず

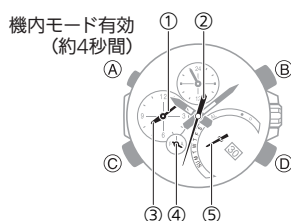
文字板の表示

① Bluetooth 接続中
② Bluetooth 接続待機中
③ アラームオン
④ アラームオフ
⑤ 曜日
⑥ アラームモード
⑦ メール受信有
⑧ メール受信無
⑨ スピード
⑩ 機内モード

モードを切り替える

この時計には、3 つのモード（機能）があります。

モードの切り替えは、A ボタンで行います。A ボタンを約 2 秒間押し続けると、カレンダーモードになります。携帯電話と接続するには、C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。

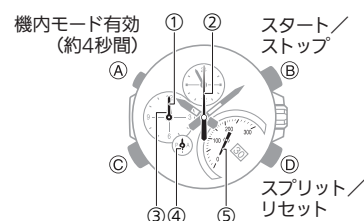
各モードの概略

● カレンダーモード

時針と分針が現在時刻を示し、9 時側小窓の小時分針がデュアルタイムを示します。

① デュアルタイム分
② 現在時刻の秒
③ デュアルタイム時
④ デュアルタイム 24 時間表示*
⑤ 現在地の曜日

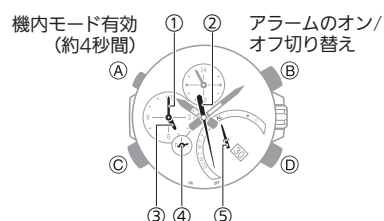
* 針が A の側のときは午前、P の側のときは午後を示します。

● ストップウオッチモード

時針と分針が現在時刻を示し、9 時側小窓の小時分針がストップウオッチでの計測値を示します。

① ストップウオッチ分
② ストップウオッチ秒
③ ストップウオッチ時
④ ストップウオッチ 24 時間表示*
⑤ スプリットごとのスピード

* 針が A の側のときは計測値が 0〜12 時間、P の側のときは 12〜24 時間を示します。

● アラームモード

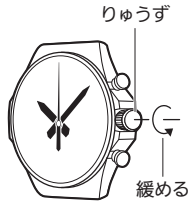
時針と分針が現在時刻を示し、9 時側小窓の小時分針がアラーム時刻を示します。

① アラーム分
② アラームモードのオン/オフ
③ アラーム時
④ アラーム 24 時間表示*
⑤ モード

* 針が A の側のときは午前、P の側のときは午後を示します。

参考

- 機内モードは、どのモードからでも A ボタンを約 4 秒間押し続けると切り替わります。

りゅうずを使う

りゅうずは、ねじ込み式になっています(ねじロック式りゅうず)。お使いになるときは、りゅうずを左回しにして、ねじ込みを緩めてください。

重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら必ずねじ込みをしてください。
- りゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

● **早送り／早戻しする**

りゅうずを引いた状態で素早く繰り返し回すと早送りまたは早戻しができます。早送り中に再度りゅうずを素早く繰り返し回すと、針の動きが速くなります。

- 早戻しの速度を上げることはできません。

● **早送り／早戻しを解除する**

りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押します。

参考

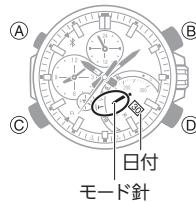
- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

針と日付の動き方について

● **モード針と日付の動きについて**

この時計は、日付を変更すると、日付の動きに連動してモード針が回転します。

● **日付について**

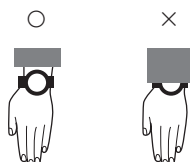
- 午前 12 時になると約 1 分半から 3 分かけて日付が変わります。このとき、日付の動きに合わせてモード針が回転します。
- りゅうずを引いた状態では日付が正しく表示されない場合があります。

充電する(ソーラー充電)

ソーラー充電とは

この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。

腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

重要

- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯などの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

充電にかかる時間

光量		充電レベル 1	充電レベル 2
多	①	3 時間	33 時間
↓	②	8 時間	122 時間
	③	12 時間	197 時間
少	④	133 時間	—

充電レベル 1:
充電切れから時計が動き出すまで

充電レベル 2:
時計が動き出してから満充電まで

① 晴れた日の屋外など(50,000 ルクス)
② 晴れた日の窓際など(10,000 ルクス)
③ 曇りの日の窓際など(5,000 ルクス)
④ 蛍光灯下の室内など(500 ルクス)

参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

充電不足や充電切れ

充電量は、針の動きで確認できます。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

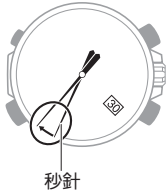
重要

- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

参考

- 充電が切れた状態で光に当て続けると、秒針が反時計回りに動き、57 秒の位置で停止します。これは充電を開始したことを示します。

● **充電不足のとき**

秒針が 2 秒ごとに動きます。

● **充電切れのとき**

すべての針が 12 時位置で停止し、日付が「1」になります。

節電（パワーセービング機能）

午後 10 時から午前 6 時の間に、時計を暗い場所に約 1 時間置いておくと秒針が停止し、レベル 1 の節電状態になります。この状態が 6〜7 日続くと、すべての針が 12 時位置で停止し、レベル 2 の節電状態になります。

レベル 1:
秒針を停止して節電します。

レベル 2:
日付以外の針の動き、Bluetooth 接続およびアラームのお知らせを停止して節電します。

節電状態を解除する

いずれかのボタンを押す、または時計を明るい場所に置くと、節電状態は解除されます。

携帯電話と一緒に使う（モバイルリンク機能）

時計と携帯電話を Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、ストップウオッチのデータを携帯電話で確認したりできます。

参考

- この章では、時計と携帯電話を操作します。
  ⌚：時計を操作します。
  📱：携帯電話を操作します。

準備する

① アプリケーションをインストールする

携帯電話と一緒に使うには、以下のリンクをタップしてカシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCH+」を携帯電話にインストールしてください。

● **iOS（iPhone）をお使いの方**

https://itunes.apple.com/jp/app/casio-watch+/id760165998?mt=8

● **Android（GALAXY ほか）をお使いの方**

https://play.google.com/store/apps/details?id=com.casio.watchplus

②Bluetooth を設定する

携帯電話の Bluetooth 設定をオンにします。

iPhone をお使いの方

1. 📱ホーム画面で「設定」→「Bluetooth」の順にタップします。
2. 📱「Bluetooth」をオンにします。
3. 📱「設定」をタップして「設定」画面に戻ります。
4. 📱「プライバシー」→「Bluetooth 共有」の順にタップします。
5. 📱「CASIO WATCH+」をオンにします。

Android をお使いの方

Bluetooth をオンにします。

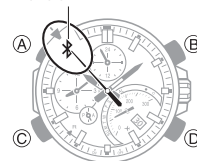
- 「Bluetooth」または「Bluetooth Smart」を選択する必要があるときは、「Bluetooth Smart」を選択してください。

参考

- 設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

③ ペアリングする

時計と携帯電話を一緒に使うには、最初にペアリングする必要があります。一度ペアリングすれば、次からは行う必要はありません。

1. ペアリング相手の携帯電話を、時計の近く（1m 以内を推奨）に置きます。
2. 📱ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
3. 📱「EQB-500」を選び、「次へ」をタップします。
4. 📱アプリケーションの指示に従って操作します。
   - ペアリングの要求が表示される場合は、メッセージに従って操作してください。
   - ペアリングが完了すると、秒針が ✱ に移動し、接続状態になります。

5. 📱「はじめる」をタップします。

   CASIO WATCH+のトップ画面が表示されます。

参考

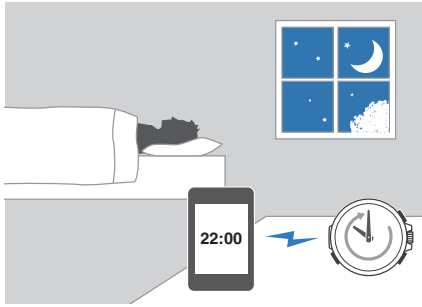
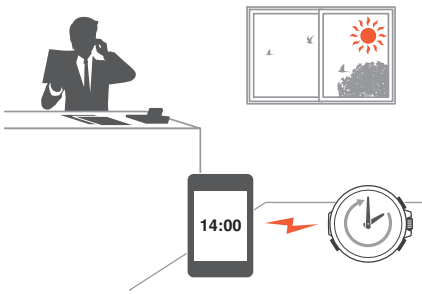
- ペアリングに失敗したときは、手順 2 からやり直してください。

時計の時刻を自動で合わせる

毎日決まった時刻に、時計を携帯電話の時刻に自動で合わせます。

● 使いかた

普段、時計と携帯電話を近くに置いておくタイミング(たとえばイラストのように)に合わせて、時刻合わせをスケジュールしておきます。

- 夜寝ているとき

- 昼間机で仕事しているとき

重要

- 時計と携帯電話が Bluetooth で接続されていないときでも、設定したタイミングに自動で接続して時計の時刻が修正されます。時刻合わせが終了すると、自動で接続が解除されます。
- 時計と携帯電話を接続したときも、時計の時刻が携帯電話の時刻に修正されます。

● 時刻合わせのタイミングを設定する

時刻合わせを行うタイミングは、CASIO WATCH+で設定できます。

1. ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。

   「時計を検出中」が表示されます。

2. C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。

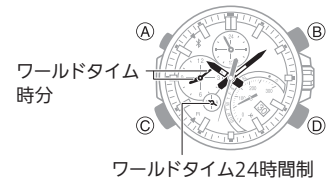
   時計と携帯電話が接続されます。

3. ☰→「時計設定」の順にタップします。
4. 「時刻合わせ」をタップします。
   - メッセージに従って操作してください。

参考

- 実際に時刻合わせが実行されるのは、設定した時刻の 30 秒後です。
  例)「22：00」に設定した場合、午後 10 時 00 分 30 秒に時刻合わせが開始します。
- CASIO WATCH+でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻合わせとサマータイム設定の切り替えも自動で行なわれます。ワールドタイムの時刻合わせとサマータイムの切り替えは、自動時刻合わせや時計と携帯電話を Bluetooth で接続したときに行われます。

ワールドタイムを設定する

CASIO WATCH+でワールドタイム都市を設定すると、9 時側小窓にその都市の時刻が表示されます。

参考

- CASIO WATCH+のワールドタイム都市は約 300 都市あります。
- ワールドタイムの時刻と現在の時刻は入れ替えることができます。

● ワールドタイム都市を設定する

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。

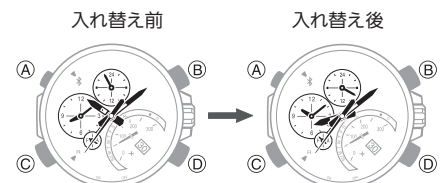
   時計と携帯電話が接続されます。

3. 「ワールドタイム」をタップします。
4. メッセージに従って操作します。

● ワールドタイムと現在の時刻を入れ替える

1. A ボタンを約 2 秒間押し続けて、カレンダーモードにします。
2. B ボタンを約 3 秒間押し続けます。

   時計の表示がワールドタイムに変わります。

   - 9 時側小窓は現在の時刻が表示されます。

CASIO

参考

• 海外に渡航するとき、この機能をお使いいただくと便利です。使いかたは「海外に渡航するときは」をご覧ください。

ストップウオッチのデータを見る

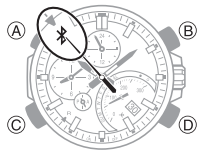
できること

時計に記録されているラップタイムやスプリットタイム（最大 100 本）、ベストラップ、平均速度、などのデータを携帯電話に転送し、CASIO WATCH+で見ることができます。

データを転送する

時計で計測したデータを携帯電話に転送します。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。

   時計と携帯電話が接続されます。

3. ☰ →「データ BOX」の順にタップします。
4. 「データ転送」をタップします。

   計測データの一覧が表示されます。

   • 計測データをタップすると、詳細が表示されます。

ラップタイムを確認する

携帯電話に転送したデータを CASIO WATCH+で確認します。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. 「データ BOX」→「EQB-500」の順にタップします。
3. 計測データ一覧の中から、確認したいデータをタップします。

   計測データの詳細が表示されます。

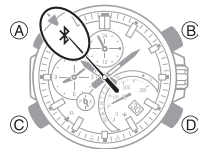
参考

• 「編集」をタップすると、データのタイトルを変更したり、ラップタイムのデータを削除したりできます。

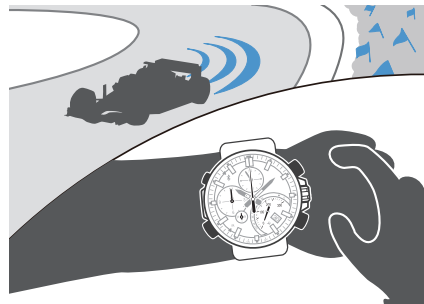
速度データを表示する

時計に速度を表示させるための設定を行います。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。

   時計と携帯電話が接続されます。

3. 「ストップウオッチ」をタップします。
4. 画面に従って、走行距離と単位を設定します。

レースのラップタイムを記録する（使用例）

レースを観戦しているときに、区間ごとにラップタイムを計測し、その結果を CASIO WATCH+で見ることができます。

● **レース前**

コースの長さと速度単位を設定します。

速度データを表示する

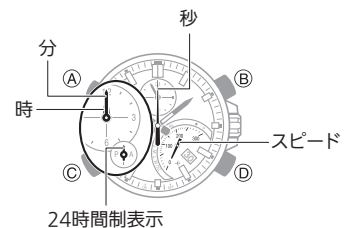
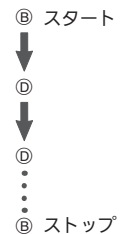
● **レース中**

ラップタイムを計測します。

1. A ボタンを約 2 秒間押し続けます。

   カレンダーモードになります。

2. A ボタンを 1 回押します。

   ストップウオッチモードになります。

3. 以下の操作で計測します。

   周回ごとに D ボタンを押すと、周回ごとのラップタイムが記録されます。

   • ラップタイムは 1/1000 秒単位で記録されます。

4. D ボタンを押して、計測をリセットします。
5. A ボタンを 2 回押して、カレンダーモードに戻ります。

● **レース後**

計測したラップタイムを確認します。

データを転送する
ラップタイムを確認する

アラームを設定する

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。
   時計と携帯電話が接続されます。

3. 「アラーム」をタップします。
4. 画面に従って操作します。

針を補正する

自動時刻合わせをしても針がずれているときは、CASIO WATCH+を使って針のずれを補正できます。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。
   時計と携帯電話が接続されます。

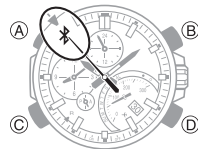
3. ☰→「時計設定」の順にタップします。
4. 「針のずれ補正」をタップします。
5. メッセージに従って操作します。

新着メールの有無を確認する

携帯電話を見なくても、時計の操作で新着メールがあるかどうか確認できます。

準備:

CASIO WATCH+にメールアドレスのアカウントを登録します。

1. 「CASIO WATCH+」のアイコンをタップします。
2. C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。
   時計と携帯電話が接続されます。

3. ☰→「通知設定」の順にタップします。
4. 「E メール確認」をタップします。
5. 画面に従って操作します。

参考

- 登録できるアカウントは下記のとおりです。
  @gmail.com、@yahoo.com、@yahoo.co.jp、@icloud.com、@aol.jp、@aol.com、@aim.com、@i.softbank.jp、@outlook.jp、@outlook.com

● 新着メールの有無を確認する

1. 時計と携帯電話が接続している場合は、D ボタンを押します。時計と携帯電話が接続していない場合は、C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。
   モード針が ● または○に移動します。
   ●:新着メールあり
   ○:新着メールなし

● 新着メールがあった場合

新着メールがあったときは携帯電話で内容を確認してください。

携帯電話を探す

時計の操作で、携帯電話の音を鳴らして探すことができます。携帯電話がマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。

- この機能は、CASIO WATCH+が起動しているときのみ使用できます。

重要

- 携帯電話の音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドフォン使用時にこの機能を使わないでください。

1. 時計と携帯電話が接続している場合は、C ボタンを押して接続を解除します。
2. A ボタンを約 2 秒間押し続けます。
   カレンダーモードになります。

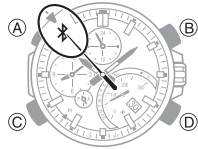
3. D ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。
   時計の秒針が ᛒ に移動して、携帯電話の音が鳴ります。
   - 携帯電話の音が鳴るまで数秒かかります。

4. いずれかのボタンを押して音を止めます。
   - 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

時計の各種機能を設定する

Bluetooth 接続を自動で切断する時間や時刻合わせを行うタイミングなどは、CASIO WATCH+で設定できます。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。

   時計と携帯電話が接続されます。

3. ☰ →「時計設定」の順にタップします。
4. 設定したい内容を選び、メッセージに従って操作します。

時計の設定をリセットする

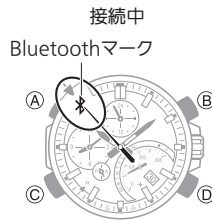
CASIO WATCH+を使って変更した時計の以下の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

- 時刻合わせ
- ワールドタイム
- アラーム
- ストップウオッチ
- 接続時間

1. りゅうずを 2 段引きます。
2. C ボタンを約 5 秒間押し続けます。

   秒針が 1 周し、設定がリセットされます。

接続

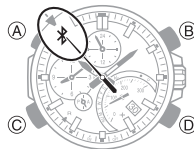
時計と携帯電話の接続を解除する

C ボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され秒針が通常の動きに戻ります。

時計と携帯電話を接続する

ペアリングが完了している時計と携帯電話を Bluetooth 接続します。

- ペアリングしていないときは、「③ ペアリングする」に従って、ペアリングを完了してください。

1. 携帯電話を、時計の近く（1m 以内を推奨）に置きます。
2. 秒針が ✱ を示していないときに、C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。

   秒針が ✱ に移動して、Bluetooth 接続が完了します。

重要

- 時計と携帯電話を接続できないときは、CASIO WATCH+が終了している可能性があります。携帯電話のホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップし、時計の C ボタンを約 0.5 秒間押し続けてください。

参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。
  接続を維持する時間は、CASIO WATCH+の「時計設定」→「接続時間」で、3 分、5 分、10 分から選ぶことができます。

時計を機内モードにする

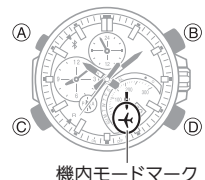
Bluetooth の電波を発信しないようにできます。
病院内や飛行機内など、電波が発信しないようにしたい場合は、機内モードをオンにしてください。

重要

- 機内モードをオンにすると、以下の機能を使用できません。
  - 自動時刻合わせ
  - 新着メールの確認
  - 携帯電話の探索
  - Bluetooth 接続

1. 時計と携帯電話が接続している場合は、C ボタンを押して接続を解除します。
2. A ボタンを約 4 秒間押し続けます。

   時計が機内モードになり、モード針が機内モードマークに移動します。

   - A ボタンを約 4 秒間押し続けるたびに、機内モードのオンとオフが切り替わります。

ペアリングをクリアする

時計と携帯電話のペアリングをクリアするには、CASIO WATCH+、携帯電話、時計からペアリング情報を削除します。

● CASIO WATCH+からペアリング情報をクリアする

1. 時計と携帯電話が接続している場合は、C ボタンを押して接続を解除します。
2. CASIO WATCH+の「接続設定」をタップします。
3. 「登録済みの時計」からペアリングをクリアしたい時計をタップします。
4. 「登録（ペアリング）を削除する」をタップします。
5. 「はい」をタップします。
   CASIO WATCH+から時計のペアリング情報がクリアされます。

● 携帯電話からペアリング情報をクリアする

iPhone をお使いの方

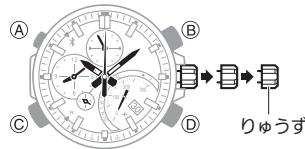
1. ホーム画面で「設定」→「Bluetooth」の順にタップします。
2. 「CASIO EQB-500」の横にある ⓘ をタップします。
3. 「このデバイスの登録を解除」をタップします。
   携帯電話から時計のペアリング情報がクリアされます。

Android をお使いの方

1. アプリ画面で「設定」→「Bluetooth」の順にタップします。
2. 「CASIO EQB-500」の横にある ⚙ をタップします。
3. 「ペアリングを解除」をタップします。
   携帯電話から時計のペアリング情報がクリアされます。
4. ステータスバーを下方向にスクロールして、通知パネルを開きます。
5. (Bluetooth)をタップしていったんオフにし、再度オンにします。

> **参考**
>
> • 実際の操作方法は、携帯電話の機種によって異なります。詳しくは、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

● 時計のペアリング情報をクリアする

1. りゅうずを 2 段引きます。

2. D ボタンを約 5 秒間押し続けます。
   秒針が 1 周して、ペアリング情報がクリアされます。
3. りゅうずを戻します。

他の携帯電話に接続する

携帯電話を買い換えたときなど、別の携帯電話と本機を Bluetooth 接続する場合は、以下の操作が必要です。

1. ペアリングをクリアする
2. ペアリングする

別の時計と接続する

新しい時計を購入したなど、別の時計と携帯電話を接続する場合は、以下の操作を行ってください。

● ペアリングする

1. CASIO WATCH+の「接続設定」をタップします。
2. 「新しい時計を接続」をタップします。
3. 接続する時計の製品名を選び、「次へ」をタップします。
   • 以降、携帯電話のメッセージに従ってペアリングを完了させてください。

● ペアリング済みの時計と接続する

1. CASIO WATCH+の「接続設定」をタップします。
2. 「登録済みの時計」リストから接続したい時計をタップします。
3. 「xxx と接続する」をタップします。
   • 携帯電話のメッセージに従って接続を完了させてください。

> **重要**
>
> • 一度に接続できるのは 1 台だけです。別の時計と接続するときは、現在接続中の時計の接続を解除してください。

時計の設定

現在の時刻やデュアルタイムを手動で設定します。

準備:

ここでの操作はカレンダーモードで行います。A ボタンを押してカレンダーモードに切り替えてください。

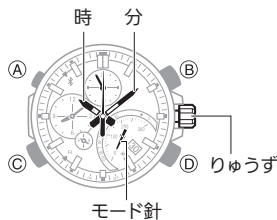
モードを切り替える

日時を設定する

携帯電話と通信しているときは、携帯電話の時刻と日付に自動的に合わせます。携帯電話と接続しないときは、以下の操作で時計の時刻と日付を合わせます。

1. りゅうずを 2 段引きます。

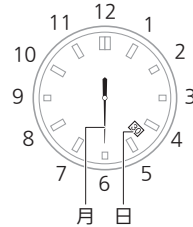
   秒針が 12 時位置に移動、モード針が「0」に移動し、「時」と「分」を設定できる状態になります。

   • モード針が動いている間、りゅうず操作はできません。

2. りゅうずを回して「時」と「分」を合わせます。

   • 時刻に合わせてデュアルタイムも修正されます。デュアルタイムが修正されている間、りゅうず操作はできません。

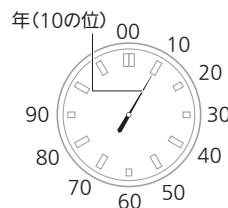
3. A ボタンを押します。

   月日を設定できる状態になります。

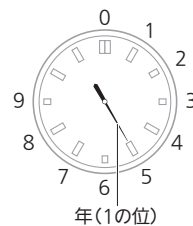
4. B ボタンを押して「月」を合わせます。

5. りゅうずを回して「日」を合わせます。

6. A ボタンを押します。

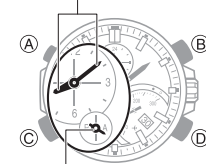
   「年（10 の位）」を設定できる状態になります。

7. りゅうずを回して「年（10 の位）」を合わせます。

8. A ボタンを押します。

   「年（1 の位）」を設定できる状態になります。

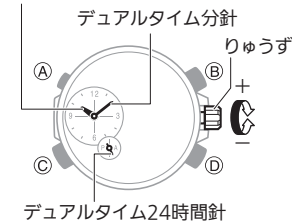
9. りゅうずを回して「年（1 の位）」を合わせます。

10. 時報に合わせてりゅうずを戻します。

デュアルタイムを設定する

現在の時刻とは別に、海外時刻などもう 1 つの時刻を表示できます。

1. りゅうずを 1 段引きます。

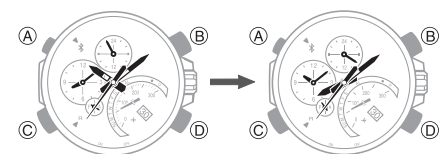
   秒針が 12 時位置に移動します。

2. りゅうずを回して時刻を設定します。

   • 時刻は 15 分単位で設定できます。

3. りゅうずを戻します。

現在時刻とデュアルタイムを入れ替える

B ボタンを約 3 秒間押し続けると、デュアルタイムと現在時刻が入れ替わります。

入れ替え前　　入れ替え後

参考

• 時計でデュアルタイムを設定した場合、現在時刻とデュアルタイムを入れ替えても、日付けは入れ替わりません。

ストップウオッチ

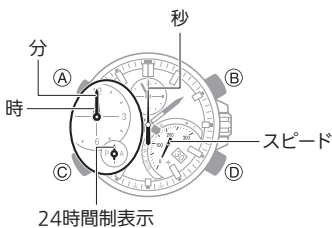
最長で 23 時間 59 分 59 秒の計測ができます。

通常の計測のほかに、スプリットタイムも計測できます。

準備:

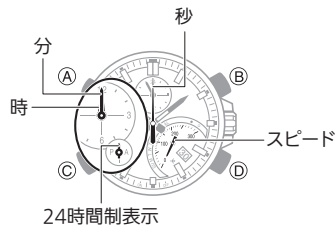
ここでの操作はストップウオッチモードで行います。A ボタンを押してストップウオッチモードに切り替えてください。

モードを切り替える

ストップウオッチモード

計測する

1. 以下の操作で計測します。

2. D ボタンを押して、計測をリセットします。
3. A ボタンを 2 回押して、カレンダーモードに戻ります。

スプリット計測する

1. 以下の操作で計測します。

* D ボタンを押すごとに、その時点までの経過時間が 10 秒間表示されます。

2. D ボタンを押して、計測をリセットします。
3. A ボタンを 2 回押して、カレンダーモードに戻ります。

参考

- スプリットタイムは最大で 100 本記録されます。データは CASIO WATCH+で確認できます。

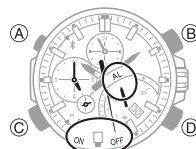
アラーム

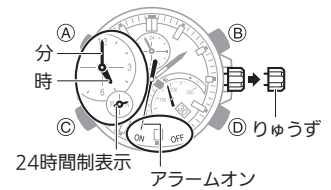
指定した時刻に音でお知らせします。

準備:

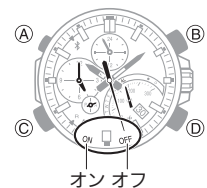
ここでの操作はアラームモードで行います。A ボタンを押してアラームモードに切り替えてください。

モードを切り替える

アラームモード

アラームをセットする

1. りゅうずを 1 段引きます。
   アラームがオンになります。

2. りゅうずを回してアラーム時刻を設定します。
3. りゅうずを戻します。
4. A ボタンを 1 回押して、カレンダーモードに戻ります。

アラームのオン／オフを切り替える

B ボタンを押すと、アラームのオンとオフを切り替えることができます。

アラームを止める

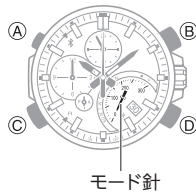
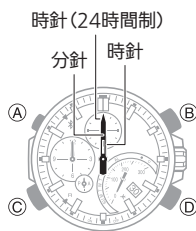
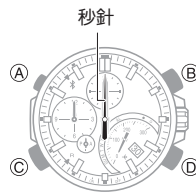
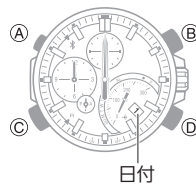
アラームの音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押します。

針の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の表示がずれることがあります。そのようなときは、針のずれを補正します。

針のずれを補正する

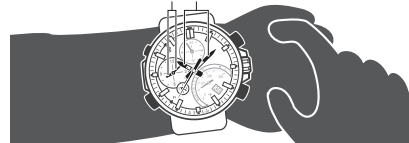
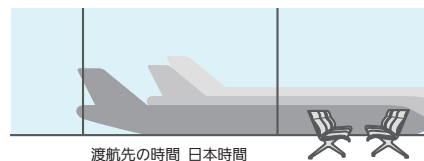
1. りゅうずを 1 段引きます。
2. D ボタンを約 5 秒間押し続けます。
   小時針、小分針および小時針(24 時間制)を補正できるようになります。

3. りゅうずを回して小時針、小分針および小時針(24 時間制)を 12 時位置に合わせます。
4. A ボタンを押します。
   モード針を補正できるようになります。

5. りゅうずを回してモード針を「0」に合わせます。
6. A ボタンを押します。
   時針、分針および時針(24 時間制)を補正できるようになります。

7. りゅうずを回して時針と分針を 12 時位置に合わせます。
8. A ボタンを押します。
   秒針を補正できるようになります。

9. りゅうずを回して秒針を 12 時位置に合わせます。
10. A ボタンを押します。
    日付を補正できるようになります。

11. りゅうずを回して「1」を中央に合わせます。
12. りゅうずを戻します。

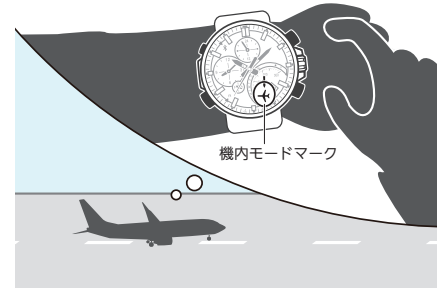
海外に渡航するときは

こんな使い方をすれば、スムーズに現地の日時に変更できます。

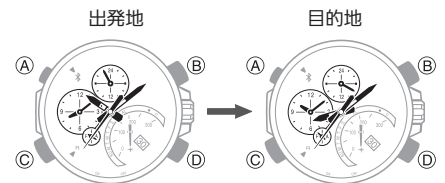
● **搭乗前**

目的地の時刻をワールドタイム(デュアルタイム)に設定します。

ワールドタイムを設定する
デュアルタイムを設定する

● **離陸前**

アナウンスに従って、機内モードに設定します。

時計を機内モードにする

● **到着前**

出発地と目的地の時刻を入れ替えます。

ワールドタイムと現在の時刻を入れ替える
現在時刻とデュアルタイムを入れ替える

● **到着後**

機内モードを解除します。

時計を機内モードにする

補足

対応機種

対応機種はカシオホームページでご確認ください。

http://www.edifice-watches.com/jp/ja/collection/EQB-500/

モバイルリンク機能に関する注意事項

● 法律上のご注意

- 本機は、各国、各地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。
  http://world.casio.com/ce/BLE/
- 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

● 安全上のご注意

⚠ 警告　無線について

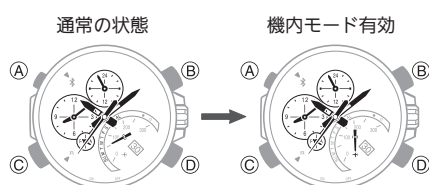
- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

● モバイルリンク機能使用上のご注意

- 携帯電話は、本機の近くに置いてご使用ください。2m 以内が目安ですが、周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。
- 本機は、他の機器（電気製品、AV 機器、OA 機器など）の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機の Bluetooth は無線 LAN 対応機器と同一の周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線 LAN 対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

● 本機からの電波を止める必要があるときは

秒針が ✱（Bluetooth 接続中）または R（Bluetooth 接続待機中）を指しているときは、本機は電波を発信しています。また、秒針が ✱ または「R」を指していなくても、1 日 1 回時刻修正のため時計と携帯電話が接続します。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域で電波の発信を止めるには、C ボタンを押して Bluetooth 接続を解除してから、A ボタンを約 4 秒間押し続けて時計を機内モードにしてください。

詳しくは「時計を機内モードにする」を参照してください。

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けていますので以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯（2.4GHz）を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
  - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
  - 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
  - 大型金属製家具の近く
  - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
  - 腕時計と携帯電話等が別々の部屋にある場合（障害物がある場合）
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

<以下、ARIB（一般社団法人 電波産業会）に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH,FH-OFDM 複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。

2. 4 XX1

- 本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業･科学･医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」（「取扱説明書」を参照）にお問い合わせください。

商標、登録商標について

- Bluetooth®は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GALAXY Note、GALAXY S は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- Android および Google Play は、Google Inc.の登録商標です。
- その他の会社名･商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

ペアリングできない

Q1　時計と携帯電話が一度も接続（ペアリング）ができない

機種は対応していますか？

お使いの携帯電話と OS が対応機種となっているかご確認ください。
対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

http://www.edifice-watches.com/jp/ja/collection/EQB-500/

YES

CASIO WATCH+はインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCH+を携帯電話にインストールする必要があります。

① アプリケーションをインストールする

YES

Bluetooth は設定しましたか？

携帯電話の Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「Bluetooth」→ オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth 共有」→「CASIO WATCH+」→ オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

YES

上記以外

一部の携帯電話で CASIO WATCH+を使用する場合、携帯電話で BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

再接続ができない

Q1　時計と携帯電話が再接続できない

CASIO WATCH+は起動していますか？

CASIO WATCH+が終了している可能性があります。携帯電話のホーム画面で CASIO WATCH+のアイコンをタップしたあと、時計の CONNECT ボタン（C）を約 0.5 秒間押し続けてください。

YES

携帯電話を確認しましたか？

携帯電話の電源を入れ直し、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計の CONNECT ボタン（C）を約 0.5 秒間押し続けてください。

Q2　携帯電話の機内モードを有効にしたら接続できなくなった

携帯電話の機内モードを有効にすると、時計と接続できません。携帯電話の機内モードを解除し、ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップした後、時計の CONNECT ボタン（C）を約 0.5 秒間押し続けてください。

Q3　時計の機内モードを有効にしたら接続できなくなった

時計の機内モードを解除してから、時計の CONNECT ボタン（C）を約 0.5 秒間押し続けてください。

Q4　携帯電話の Bluetooth をオンからオフにしたら接続できなくなった

携帯電話の Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップした後、時計の CONNECT ボタン（C）を約 0.5 秒間押し続けてください。

Q5　携帯電話の電源を切ったら接続できなくなった

携帯電話の電源を入れ、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計の CONNECT ボタン（C）を約 0.5 秒間押し続けてください。

どうしても接続できない場合

Q1　どうしても携帯電話と時計を接続できない

携帯電話を確認しましたか？

携帯電話の電源を入れ直し、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計の CONNECT ボタン（C）を約 0.5 秒間押し続けてください。

YES

ペアリングをやり直しましたか？

以下の操作の後、ペアリングからやり直してください。

① 時計のペアリング情報をクリアします。

② CASIO WATCH+ のペアリング情報をクリアします。

③ 携帯電話のペアリング情報をクリアします。

ペアリングをクリアする

別の携帯電話との接続

Q1 今使っている時計を別の携帯電話と接続したい

お使いになっている時計のペアリング情報を削除して、別の携帯電話とペアリングしてください。

他の携帯電話に接続する

携帯電話探索機能（Phone Finder）

Q1 携帯電話の探索ができない

接続は解除していますか？

YES ↓ Bluetooth 接続中は、携帯電話の探索ができません。

CASIO WATCH+は起動していますか？

YES ↓ CASIO WATCH+が終了している可能性があります。ホーム画面でCASIO WATCH+のアイコンをタップして起動してください。

上記以外

数秒待っても携帯電話が反応しない場合は、携帯電話が離れた場所にあることが考えられます。場所を変えて携帯電話の探索をお試しください。

Q2 携帯電話が反応するまでに時間がかかる

時計と接続ができてから携帯電話の音が鳴るので、接続するまでには数秒かかります。

Q3 近くに携帯電話があるのに探索ができない

電波で通信しているため、2m 以内でも探索できない場合があります。周囲の環境によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。

E メール確認機能（E メール確認）

Q1 確認できるメールアカウントは何ですか？

@gmail.com、@yahoo.com、@yahoo.co.jp、@icloud.com、@aol.jp、@aol.com、@aim.com、@i.softbank.jp、@outlook.jp、@outlook.com です。

Q2 通知させるメールアカウントは何個設定できますか？

CASIO WATCH+では 5 個までアカウントを登録できます。

Q3 時計に表示されるメールの情報は何ですか？

携帯電話に新着メールがあるかどうか、モード針で確認できます。

- ● を示しているときは新着メールがあります。
- ○を示しているときは新着メールはありません。

Q4 確認結果が表示されるまでに時間がかかる

E メールの確認には数 10 秒かかります。

Q5 E メール確認ができません

アカウントは登録しましたか？

YES ↓ CASIO WATCH+に、確認したい E メールのアカウントを登録ください。

CASIO WATCH+は起動していますか？

CASIO WATCH+が終了している可能性があります。ホーム画面でCASIO WATCH+のアイコンをタップしてください。

自動時刻修正機能（Time Adjustment）

Q1 携帯電話の時刻とどのタイミングで合わせるのですか？

CASIO WATCH+で、自動時刻修正の開始時刻を設定できます。また、携帯電話と接続したときにも、時計の時刻が修正されます。

Q2 設定した自動修正の時刻になっても修正されない

設定時刻から 30 秒後に時計と電話が接続され、時刻が修正されます。

Q3 正しい時刻が表示されない

携帯電話の時刻が正しくない可能性があります。

iPhone をお使いの方

「設定」→「プライバシー」→「位置情報サービス」をオンにする →「システムサービス」→「時間帯の設定」をオンにする

Android をお使いの方

携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

Q4 現在時刻やワールドタイム時刻の表示が数時間ずれている

携帯電話と接続して時刻を修正してください。

Q5 現在時刻やワールドタイム時刻が 1 時間ずれている

サマータイムが切り替わる時期の可能性があります。携帯電話と接続して、時刻を修正してください。

ワールドタイム

Q1 設定したワールドタイム都市の時刻がずれている

タイムゾーンやサマータイムの制度が変更になった可能性があります。

Q2 現在時刻とワールドタイム都市の時刻の入れ替え後に、ワールドタイムの時刻がずれている

CASIO WATCH+で、ワールドタイム都市を設定ください。

針の動きと表示

Q1 現在の表示モードがわからない

A ボタンを約 2 秒間押し続け、カレンダーモードに戻ってください。

モードを切り替える

Q2 針を早送りしているときに、ボタン操作ができない

針を早送りしているときは、モード切り替え以外のボタン操作ができません。針の早送りが止まってから操作してください。

Q3 秒針が 2 秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

充電する

Q4 すべての針が 12 時位置で停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

充電する

Q5 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能を解除し、復帰している。
  節電（パワーセービング機能）
- 携帯電話により時刻修正をしている。
  時計の時刻を自動で合わせる

Q6 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードの状態です。回復するまで（約 15 分間）お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q7 時刻と日付の表示位置がずれている

強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。針のずれを補正してください。

針を補正する

Q8 時刻は合っているが、日付が中央に表示されていない

日付を更新中です。日付の更新に関しては、以下をご確認ください。

針と日付の動き方について

りゅうずの操作

Q1 りゅうずを回しても何も操作ができない

りゅうずを引いたまま 2 分以上（針や日付のずれ補正の場合は約 30 分間）何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻したあと、再度引いてください。

りゅうずを使う

Q2 りゅうずの操作ができない

針を早送りしているときは、りゅうずの操作ができません。針の早送りが止まってから操作してください。

充電

Q1 光に当てても操作できない

充電切れになると操作ができなくなります。充電が回復するまで光を当ててください。

充電する